



平成31年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年12月11日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年 1 月期第 3 四半期の業績 (平成30年 2 月 1 日～平成30年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年 1 月期第 3 四半期	2,698	△0.2	193	6.6	200	9.9	134	16.2
30年 1 月期第 3 四半期	2,704	0.5	181	△5.2	181	△5.0	115	△5.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年 1 月期第 3 四半期	48.16	—
30年 1 月期第 3 四半期	41.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年 1 月期第 3 四半期	5,555	2,030	36.5
30年 1 月期	5,012	1,925	38.4

(参考) 自己資本 31年 1 月期第 3 四半期 2,030 百万円 30年 1 月期 1,925 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年 1 月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年 1 月期	—	0.00	—		
31年 1 月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 1 月期の業績予想 (平成30年 2 月 1 日～平成31年 1 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,540	△0.1	190	△7.6	190	△8.6	110	△7.9	39.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期3Q	2,821,000株	30年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	31年1月期3Q	32,018株	30年1月期	31,925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期3Q	2,789,057株	30年1月期3Q	2,789,173株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用情勢の改善が進むなど緩やかな回復基調のうちに推移しましたが、通商問題の動向など懸念材料もあり、先行き不透明感を拭えない状況で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図り、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、映画では、“名探偵コナン” “劇場版コード・ブルー” “ジュラシック・ワールド／炎の王国” “万引き家族” “インクレディブル・ファミリー” “銀魂2” “グレイテスト・ショーマン” “ドラえもん” “リメンバー・ミー” “ボス・ベイビー” などの話題作品を上映して観客誘致に努めました。また、映画会員制度「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得に努めるなど積極的な広告宣伝活動や販売促進活動を展開しました結果、娯楽場部門を含めたこの部門全体の収入合計は、1,361,499千円（前年同期比0.2%増）となり、営業原価控除後では84,488千円のセグメント利益（前年同期比18.6%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、アポロビルにおいて、昨年10月に着工した耐震補強工事及び関連工事を鋭意推進したほか、防犯カメラ増設工事、4・5階共用部ほかの照明器具LED化工事を実施し、より快適で安全なビルづくりを推進しました。ルシアスビルにおいても、非常放送設備工事等を実施するなど、安全・快適なビルづくりを推進するとともに、経費節減に努めました。また、劇場事業と連携した誘客活動を進めるとともに、賃貸収入の確保に向けて、ビル入居率の維持・向上を図るため、空室部分への後継テナント誘致に注力し、期間を通じて高いビル入居率を維持しました。しかし、アポロビル耐震補強工事の影響に伴い、ビル壁面の突出し看板を一旦撤去し、看板掲出料収入が減少した結果、駐車場収入等ビル付帯事業並びにその他の事業を含めたこのセグメント全体の収入合計は、1,336,954千円（前年同期比0.6%減）となり、セグメント利益につきましても、324,497千円（前年同期比1.2%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、2,698,454千円（前年同期比0.2%減）となり、費用の面におきましては全社において諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は193,390千円（前年同期比6.6%増）となり、経常利益は200,011千円（前年同期比9.9%増）、四半期純利益は134,314千円（前年同期比16.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、現在進行中のきんえいアポロビル耐震補強工事にかかる設備投資等により前期末に比較して543,599千円増加し、5,555,815千円となりました。

負債は、耐震補強工事に伴う長期借入金の借入等により、前期末に比較して438,822千円増加し、3,525,606千円となりました。

また、純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したため、前期末に比較して104,777千円増加し、2,030,208千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の業績予想につきましては、平成30年9月6日に「平成31年1月期第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,507	73,450
売掛金	104,378	98,349
商品	4,562	3,587
短期貸付金	428,178	606,760
その他	180,653	106,630
流動資産合計	803,282	888,777
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,035,444	1,855,530
機械及び装置(純額)	40,467	34,620
工具、器具及び備品(純額)	78,832	60,458
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	37,224	707,328
有形固定資産合計	3,315,716	3,781,686
無形固定資産	17,965	38,314
投資その他の資産		
差入保証金	822,343	801,085
その他	52,907	45,950
投資その他の資産合計	875,251	847,036
固定資産合計	4,208,933	4,667,037
資産合計	5,012,215	5,555,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,424	114,644
短期借入金	280,000	250,000
未払法人税等	44,954	44,190
賞与引当金	11,900	33,600
その他	657,947	475,722
流動負債合計	1,115,226	918,158
固定負債		
長期借入金	—	600,000
退職給付引当金	91,439	97,004
受入保証金	1,560,290	1,562,316
資産除去債務	290,364	290,000
その他	29,464	58,127
固定負債合計	1,971,558	2,607,448
負債合計	3,086,784	3,525,606

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,442,319	1,548,742
自己株式	△109,215	△109,537
株主資本合計	1,921,459	2,027,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,971	2,647
評価・換算差額等合計	3,971	2,647
純資産合計	1,925,430	2,030,208
負債純資産合計	5,012,215	5,555,815

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
売上高	2,704,737	2,698,454
営業原価	2,304,926	2,289,468
営業総利益	399,811	408,986
一般管理費	218,415	215,595
営業利益	181,396	193,390
営業外収益		
受取利息	914	1,052
受取配当金	127	138
違約金収入	866	8,226
雑収入	229	617
営業外収益合計	2,137	10,034
営業外費用		
支払利息	1,523	3,408
雑支出	11	4
営業外費用合計	1,534	3,413
経常利益	181,999	200,011
特別損失		
固定資産除却損	13,050	4,632
特別損失合計	13,050	4,632
税引前四半期純利益	168,948	195,379
法人税、住民税及び事業税	74,048	78,126
法人税等調整額	△20,719	△17,061
法人税等合計	53,329	61,064
四半期純利益	115,619	134,314

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(平成29年2月1日から平成29年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,359,065	1,345,672	2,704,737	—	2,704,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,359,065	1,345,672	2,704,737	—	2,704,737
セグメント利益	71,212	328,599	399,811	△218,415	181,396

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(平成30年2月1日から平成30年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,361,499	1,336,954	2,698,454	—	2,698,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,361,499	1,336,954	2,698,454	—	2,698,454
セグメント利益	84,488	324,497	408,986	△215,595	193,390

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。